

課題二 「江戸時代の城の代表」
であると証明せよ。



江戸時代の政治のカタチはわかったけど、なんで彦根城だけで説明できるん？

1つ目は、彦根の大名「井伊のお殿さま」は、将軍から厚い信頼を得ていて、幕府で要職を担っていた大名を代表する立場だったんだ。**大名の代表である井伊のお殿さまが住んでいた彦根城は、江戸時代のお城の代表**って言うってもおかしくないよね。



江戸幕府における井伊家の地位を確立した直孝

井伊直孝は幕府に重用され、三代将軍家光、四代将軍家綱を補佐しました。直孝の時代、井伊家は「大政参与」として幕府の中枢で重要な役割を果たし、後の「大老」職へとつながる基盤を築きました。こうして井伊家は、幕府政治を支える要職としての地位を確立していきました。



井伊家二代当主 井伊 直孝



2つ目は、彦根城は政治ゾーンが昔のままとてもよく残っているからなんだ。江戸時代のほとんどのお城は明治時代以降に取り壊されたり、戦争で焼失してしまったけれど、彦根城は江戸時代の政治のカタチを示している政治ゾーンの残りが良いんだよ。これは彦根市民が大切に守ってきた結果なんだ！

「江戸時代の政治のカタチ」を今に伝える4つの要素



政治のシンボル
天守

▲五つある国宝天守の一つ



政治ゾーンの中にある
重臣屋敷

▲政治に参加していた重臣が暮らしていた



政治の場
御殿

▲地下遺構が100%残っている



政治ゾーンの境
中堀

▲今も100%残っている

彦根城世界遺産登録までのステップ

- 国内の世界遺産暫定一覧表に記載 (1992年)
- 事前評価実施 (2024年10月)
- 事前評価の結果を反映した国内推薦の準備
- 日本が国として推薦する
- 世界遺産の審査 (現地調査を含む)
- 世界遺産委員会で登録決定 (最短で2028年)

今ココです！



地域とともに

彦根城の世界遺産登録を目指しています

「地域を笑顔に、元気にしたい」という思いから、彦根創業の株式会社平和堂 (H) と彦根市に拠点を持つ、麒麟ビール株式会社 (K)、株式会社ブリヂストン (B) の3社 (以下、「HKB」という) はタッグを組んで「彦根発！笑顔いっぱいプロジェクト」として活力あるまちづくり、地域活性化を応援する取組をされています。その中で彦根城の世界遺産登録活動も力強く応援し、地域一体となって未来へ受け継いでいくことを目指されています。



11月22日のピバシティ彦根で「彦根発！笑顔いっぱいプロジェクト」の一環として、親子参加の彦根城O×クイズが開催されました。

彦根城世界遺産登録には市民の協力が欠かせません。今後も城の魅力伝え、関心と愛着を育み、次世代へ守り継ぐ。皆で同じ思いで取り組んでいきたいです。



平和堂営業企画部
販売促進課
乾 博貴さん

私たちの取組は地域企業と連携し、楽しみながら彦根城の世界遺産登録を応援するものです。これからもHKBのイベントを通じてまちの元気づくりにつなげます。



麒麟ビール滋賀工場
総務広報担当 部長
いしじま かずまさ
石嶋 和雅さん

「彦根発！笑顔いっぱいプロジェクト」を通じて彦根を盛り上げます。そして、地域活性化に貢献し、彦根の未来を笑顔で支えていきたいです。



ブリヂストン
中日本生産部門
総務部 総務課
おおしげ たかゆき
大重 隆幸さん